

HIKIFUDA

引札

Hikifuda :
Auspicious Handbills
Celebrating the New Year



2021年
11月27日[土]
12月26日[日]

入館料
一般 1,000円
高校生以下無料
中学生以下無料
※障がい者手帳などを持つ方は半額。
介添えの方は1名無料。
※20名以上の団体は各200円引き。

主催
海の見える杜美術館
広島県教育委員会
廿日市市教育委員会

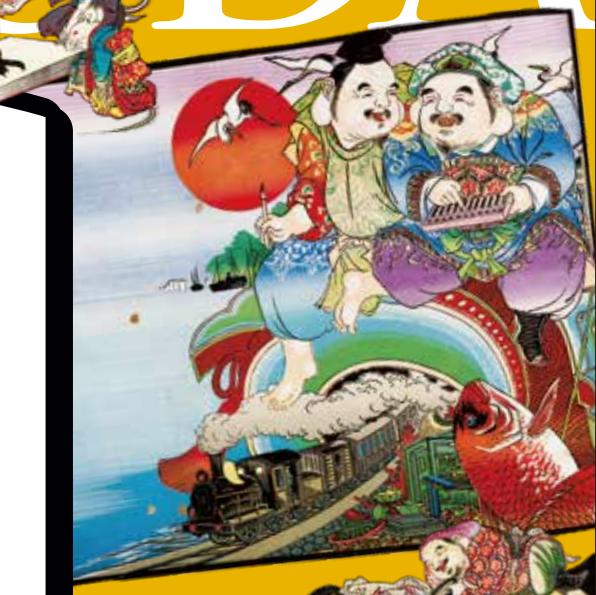


海の見える杜美術館

Learn from nature and pursue art & culture

図版:右上から時計まわりに《鼠 正月 書初 “御注文”》(部分)、《恵比寿 大黒 汽車日の出》、《恵比寿 大黒 福助 揮毫》(部分)、《恵比寿 福笛 日の出 “宝入りたる… 万々歳”》、《酒造 七福神 唐子》、《恵比寿 大黒 遊戯 子捕ろ子捕ろ “福来”》(部分)、《新聞に乗って飛ぶ商人 汽車 船日の出 “勉強家…”》、《幻灯機 母子 松梅》、《小間物 象 福助》(部分)

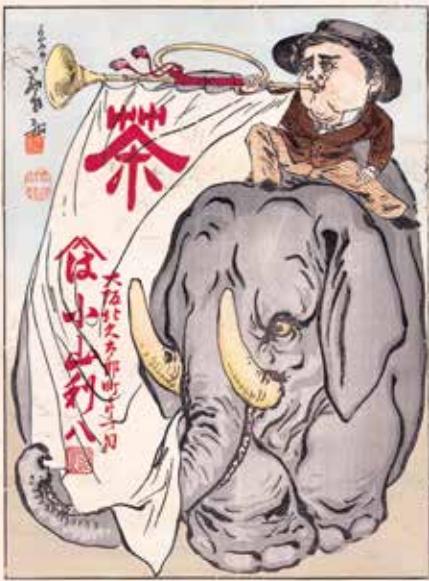
タクシー来館特典
タクシーでご来館の方、
タクシー1台につき
1名入館無料
※当館入場の際に当日のタクシー領収書を
受付にて提示ください。





引札

新年を寿ぐ吉祥のちらし



1.日の出鶴(部分) 2.正月女性扇梅竹牡丹(部分)
3.《金太郎 鷺》(部分) 4.《商店港繁栄の様子“大日本海陸繁栄之図”》(部分) 5.《広告屋口上役象ラッパ》 6.《小間物屋傘帽子恵比寿大黒》 7.《電話女性恵比寿》



江戸時代(六〇三一八六八)の中頃から、宣伝のために引札(チラシ)を配りはじめました。昔は版木で一枚ずつ増していました。明治時代(八六八一九二)になつて銅版・石版・活版や印刷革命たる機械印刷の時代を迎えると、短時間で大量に安く印刷できるようになり、また、規制されていた暦(カレンダー)の発行の自由化もあって、毎年正月にはカレンダーフリーの引札を、そして他の店よりも美しくインパクトのある引札を全国の商店が競うかのように配りだしました。

その引札には、神々・伝承・物語をはじめとした伝統的な絵にとどまらず、当時の社会情勢・風俗・流行などが描かれています。テレビやインターネットもなく、口コミが主な情報源の時代に、目を見張る色彩と情報を持つ引札は、それを手に取る人々の心を躍らせ感化したのではないでしょうか。明治時代の末には世帯数を上回る〇〇〇万枚以上が全国で配布されるマスメディアとなり、正月の風物詩・引札文化を生み出しました。

このたびの展覧会では当館所蔵品の中から、明治時代のお正月用の引札を中心に約一七五〇点を選んで映像で概略を示すとともに、作家

印刷技法・時代・国様などテーマを設けて

約五〇点の引札を展

示いたします。明治時

代の新年の引札文化の一端を感じただけました幸いです。

Hikifuda: Auspicious Handbills Celebrating the New Year

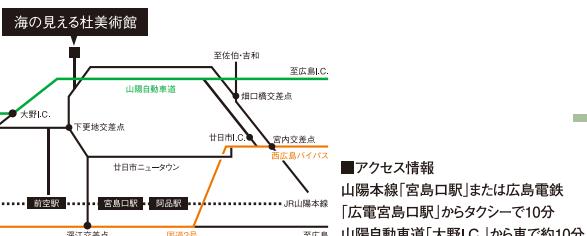
竹内栖鳳《家山澄懷》
大正時代末～昭和時代初期



竹内栖鳳は、狩野派の筆法や、コロの筆致を水墨で試みるなど、画派や、日本画の枠にとらわれず、学び、墨の表現を追求していく画家でした。今回の展示では、当館所蔵の栖鳳の水墨による作品を通じて、画家がその生涯をかけて追及した卓越した画技をお楽しみいただきます。墨一色でありながら、奥行きや空気感、時には色彩までも表現する栖鳳の墨の世界をご覧ください。

ご来館の皆さまへ

当館では、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を行っています。ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。臨時休館や、イベントを中止・変更する場合がございます。詳しくは、当館ホームページをご覧ください。



同時開催

香水瓶展示室

海の見える杜美術館が、長年にわたり収集および調査をしてまいりました香水瓶コレクションより、厳選した香水瓶をいつでもご覧いただけます。



ランバン社 香水瓶《モリス 広告塔》
デザイン: G.ジレ(?)、1945年

竹内栖鳳展示室

竹内栖鳳の水墨表現

追求していった画家でした。

今回の展示では、当館所蔵の栖鳳の水墨による作品を通じて、画家がその生涯をかけて追及した卓越した画技をお楽しみいただきます。墨一色でありながら、奥行きや空気感、時には色彩までも表現する栖鳳の墨の世界をご覧ください。

■イベント情報
当館学芸員による
ギャラリートーク
日 時 12月4日(土)
13:30～(45分程度)
会 場 海の見える杜美術館
参加費 無料
(ただし入館料が必要です)
事前申し込み 不要



日 時 12月25日(土)
13:30～(45分程度)
会 場 海の見える杜美術館
展示室
参加費 無料
(ただし入館料が必要です)

日 時 12月4日(土)
13:30～(45分程度)
会 場 海の見える杜美術館
展示室
参加費 無料
(ただし入館料が必要です)

■アクセス情報
山陽本線「宮島口駅」または広島電鉄「広電宮島口駅」からタクシーで10分
山陽自動車道「大野IC」から車で約10分

〒739-0481 広島県廿日市市大野亀ヶ岡10701
Tel: 0829-56-3221 E-mail: info@umam.jp http://www.umam.jp